

令和2年度 2年「現代文B」シラバス《国語》

1. 科目・単位・履修学年・区分
現代文・2単位・2年・必修
2. 使用教科書・副教材
 ①精選 現代文B (大修館書店) ②準拠 現代文B 学習課題集 (大修館書店)
 ③大学入試 現代文単語 550 (いっずな書店) (小テスト 24回)
 ④カラー版 国語便覧 (第一学習社)
3. 教科目標
 国語を的確に理解し適切に表現する力を養い、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を養う。近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
4. 授業方法・形態
 一斉授業、講義、作業、発表を中心とする。教科書を用いながら、適宜、副教材等を取り入れ、生徒の理解力、表現力を伸ばしていく。
5. 評価方法・形態
 定期考査 (中間考査・期末考査・2学期実力考査)、臨時テスト、授業態度 (音読・発表・発問回答)、課題提出物等を総合的に判断して行う。
6. 評価の観点・評価規準
 A 話すこと 自分の考えをまとめたり深めたりし、目的や場面に応じて、筋道を立てて話し、聞き取る。
 B 書くこと 自分の考えをまとめたり深めたりし、相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章を書く。
 d 読むこと 自分の考えを深め発展させながら、目的に応じて様々な文章を的確に読みとる。
7. 授業計画

月	単元名	教材	領域			主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点					評価方法等
			A 話すこと	B 書くこと	C 読むこと		関 心 意 欲 態 度	話 す 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 ・ 理 解	
4	1 評論(一) 広がる想像力	・対話の精神	1		2	・「会話」と「対話」の対比などを手掛かりにして筆者の主張を読み取り、対話的な精神の重要性をとらえる。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
		・ミロのヴィーナス			3	・対比・逆説・比喩などの表現技法を理解し、筆者の美についての発想をとらえる。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
		・思考と表現1 空白の美学	1			・時代や文化によって美意識が異なることを理解し、それに対する自分の考えをまとめる。	○	○		○	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・自己評価 ・相互評価
5	2 小説 (一) 名作を読む (一)	・山月記			5	・漢文調の文体や寓意的な表現に注意しながら内容をとらえ、描かれた人物、情景、心情などを読み味わう。特に、自分と自己との関係について考える。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・作文 ・定期考査

		・思考と表現2 作品のモチーフ		1	・小説作品のモチーフについての知識を深め、作者の意図や表現の工夫をとらえる。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・自己評価 ・相互評価
6	3 評論 (二) 社会をとらえる	・豊かさにつながり		3	・筆者が主張を述べるために、どのような論じ方をしているのかをたどりながら環境破壊や豊かさについて自分の考えを深める。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
		・家族化するペット	1	3	・読み取ったことをふまえて、社会の変化に対する自分の考えをまとめる。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
	・思考と表現3 社会を切り取る視点	1		・多様な視点から社会をとらえることの重要性を意識し、複数の資料をもとに自分の考えをまとめる。	○	○		○	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・自己評価 ・相互評価	
	4 詩 ことばの力	・竹 ・蟬頃 ・樹下の二人 ・永訣の朝 ・I was born		3	・詩歌を音読することで、その独特のリズムを味わう。 ・詩歌における技法、表現の特色などを理解する。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・音読 ・ノート ・作文 ・定期考査
7	5 評論 (三) 人間と科学	・食べ物を「はかる」	1	2	・意味段落の働きや具体例を手掛かりに筆者の論点を捉え、「はかる」ことの功罪について考える。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
		・科学の現在を問う		3	・文章の構成や、段落相互の関係を読みとりながら、筆者の主張や内容をとらえる。特に、現代における科学のあり方について考える。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
9	6 小説 (二) こころの交流	・山椒魚		4	・山椒魚や小エビの行動や心理の変化を正確に把握し、寓話的な話のおもしろさを味わう。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・ワークシート ・定期考査
		・巨人の接待	1	3	・登場人物の行動や情感を読み取り、言語や文化、平和、戦争といったテーマについて筆者が何を描こうとしたのかを考える。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
1	7 評論 (四) メディアと 情報	・「考える葦」であり 続ける	1	3	・筆者の主張を読み取り、情報やメディアに対する理解を深める。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
		・生命情報・社会情報・機械情報		2	・筆者の問題意識を正確に把握し、現代の情報化社会に対する自覚的な態度を養う。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
		・思考と表現4 メディアの光と影	1		・さまざまなメディアの長所、短所について、資料をもとに考える。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・自己評価
1	8 評論 (五) 他者への視点	・敬語への自覚、他者への自覚		2	・「敬語」と「他者への自覚」との関係論理として読み取り、筆者の主張について自分の意見をもつ。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
		・分かち合う社会		3	・考察から導かれる筆者の主張を正確に把握し、人間社会の普遍性について	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・感想文

					て考えるとともに科学的に物事をとらえることの大切さやおもしろさを味わう。							・定期考査
1 2	9 小説 (三) 名作を読む (二)	・こころ		6	・描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。特に、小説の鑑賞力を培い、おもしろさを味わう。	○	◎	○	◎	○		・観察(発言・発表) ・ノート ・ワークシート ・作文 ・定期考査
		・思考と表現5 作品の映像化		1	・小説を映像化したものに触れ小説に描かれていない部分がどのように表現されているかをとらえる。	○			◎	○		・観察(発言・発表) ・ノート ・自己評価 ・相互評価
1	10 評論 (六) グローバル とローカル	・コミュニティから見た日本		3	・論理的な文章を読んで、その論理の展開をたどり、筆者の主張を読み取る。 ・「コミュニティ」という視点から社会に着目しそこに生きる人々の関係性を考え社会への洞察を深める。	○	○	○	◎	○		・観察(発言・発表) ・ノート ・ワークシート ・定期考査
		・世界は、いまー 「多文化世界」の構築		4	・文章の構成や、段落相互の関係を読みとりながら、筆者の主張や内容をとらえる。特に、現代の国際社会における文化の多様性について考える。	○	○	○	◎	○		・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
2	11 近代の 文章 日本語の歩 み	・漫罵		2	・漢文訓読体の表現の特色をつかみながら、要旨をまとめ、筆者の主張を理解する。特に、明治の知識人の文明批評について考えを深める。	○	○		◎	○		・観察(発言・発表) ・ノート ・音読・朗読 ・定期考査
		・たけくらべ		2	・雅俗折衷の文語体の文章に慣れ親しみながら、描かれた人物、情景、心情などを読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。	○	○		◎	○		・観察(発言・発表) ・ノート ・作文 ・定期考査
		近代の文体		1	・明治期の文体の変遷を「漫罵」「たけくらべ」などとともにたどり、それぞれの特徴について考える。	○			◎	○		・観察(発言・発表) ・ノート
3	豊かな言語 活動のため に	①主張の吟味 ②イラストや写真を用いて表現する ③小論文を書こう ④協働的な話し合い			・主張、論拠、根拠の関係をとらえ、主張を補強するために必要なことを考える。 ・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・課題解決に向けた、協働的な話し合いをする。	○	◎	◎	◎	○		・作品 ・観察(発言・発表) ・ノート ・ワークシート ・自己評価 ・相互評価